

福岡県における 電子国土Webの活用と基盤地図情報

2008.10.06

電子国土運営協議会員
佐々木幹浩

福岡県地理情報提供システム

- ・ 県職員が容易に施設の情報やイベント情報を登録し、福岡県のホームページ上で地理情報を提供するためのシステム
- ・ 業務効率及び県民サービスの向上を目的
- ・ システム運用後の組織変更、制度改正及び様式変更に対して柔軟に対応するとともに、利用端末のOS及びアプリケーションのバージョンに制約を受けない

システム導入の背景

数年前より統合型GISについて検討を重ねてきた

その結果・・・

福岡県としては統合型GISを構築する**予算的な余裕がない。**

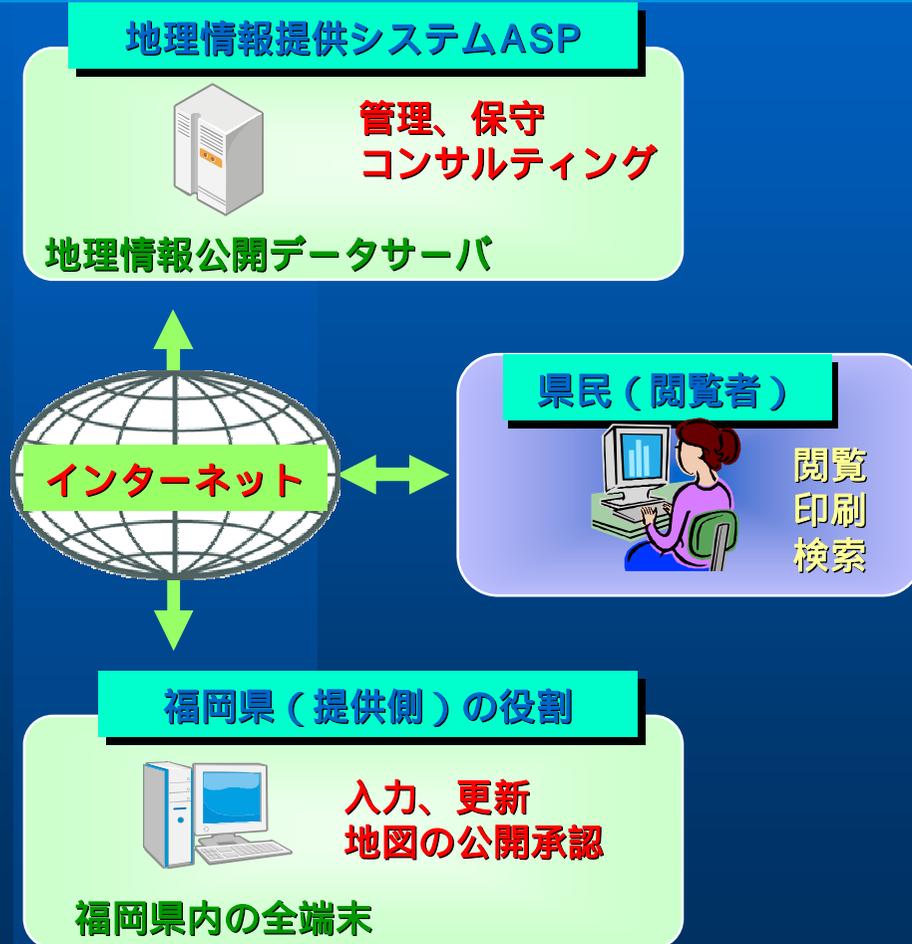
各課の**WebGISの利用に対する要望**は高まってきた。

無償の地図サービスを利用し安価なWebGISを構築することで各課の**要望を満たす**ことを決定。

システム構築にあたっての前提条件

- 無料の地図（維持更新も含めて）を使用する（無料サービス終了のリスクは問わない）
- ASP及びハウジングのいずれの提案でも構わない（費用対効果が高い提案を選択）
- 県職員が自由にカテゴリ（カテゴリー、レイヤ）を作成し、リアルタイムに情報を入力できる汎用フォーム

採用システム（ASPタイプ）



- ・既存の地理情報提供システムサービスをサーバを含めてレンタル（APS）し、福岡県庁内の各課にデータ入力用のIDとパスワードを発行

- ・使用については一般的なWebブラウザのみで行い、特殊なソフトウェアのインストールは不要

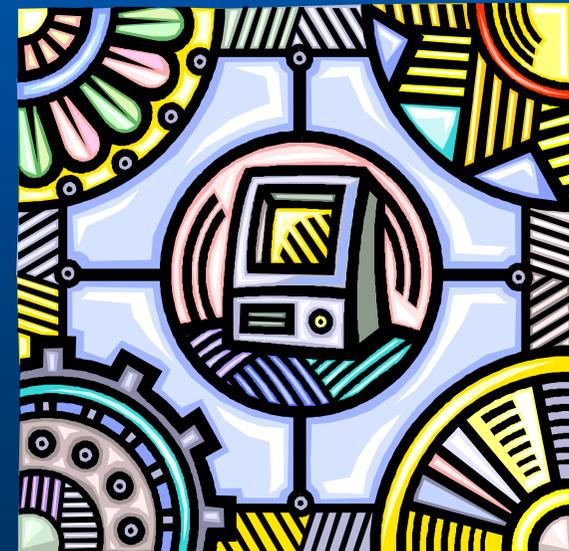
データ使用領域（最大）：2GB
推奨アクセス数：15,000アクセス/日まで

独自ドメイン使用可（1つまで）
使用背景図面：電子国土Web
GoogleMap

システムの特徴

各課からの要望であるホームページで利用できる地図システムを各課独自に作成するのではなく、汎用ツールとして構築し、多くの部署がGISの公開が可能なようにする。

- 安価であること
- シンプルであること
- 専用端末が必要ないこと



安価であること

WebGISで提供する情報は、公開することで利害関係者に影響を及ぼさない程度の情報のため、基幹システムのような高価なものを構築するものではない。コストパフォーマンスを高めるため、**構築・維持にかかる費用を安価にすることが必須条件**である。



シンプルであること

データの入力は県職員が行うため、**操作が単純明快で、シンプル**であることが必要である。

システムに要求したことは**点、線、面が描画**できてそれぞれに汎用の**属性データ**を入力可能なこと。

描画した地物に対して汎用的な属性データを入力し、**詳しい内容を記載したWebページにリンク**が行えること。



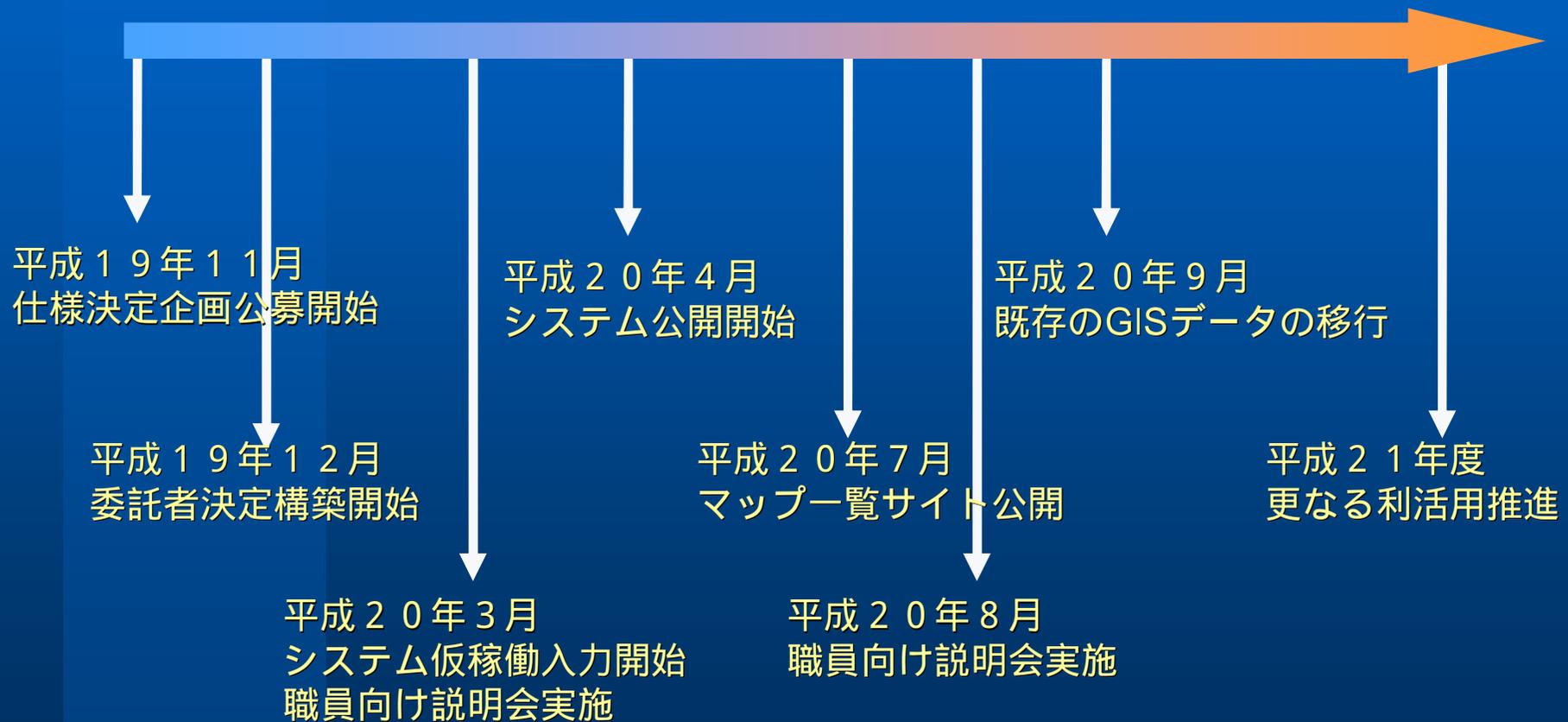
専用端末が必要ないこと

原則として**ライセンスフリー・インストール不要**とすることで、運用管理の手数を極力小さくした。

これによってコストを軽減するだけでなく、各部署が**手軽に使えるシステムとして積極的に参加**する契機を促すことが可能となる。



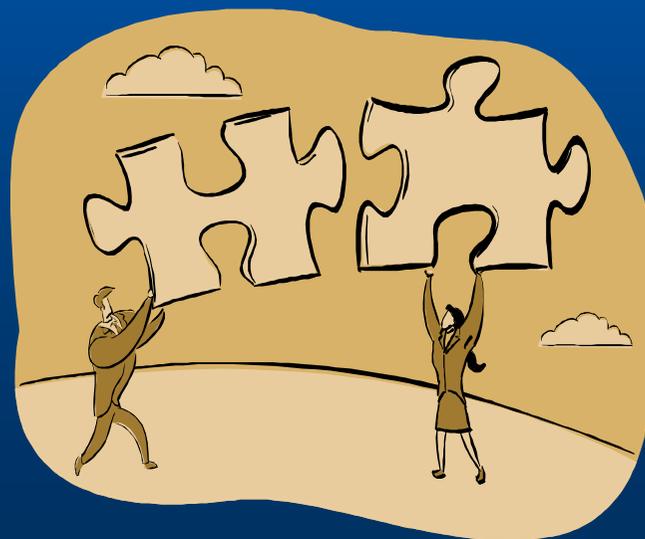
システムの沿革



地図の作成を簡単にする その1

各課が作った**カテゴリ**は**システム内で共有**し、複数のカテゴリを組み合わせることで地図（主題図）という単位で構成される仕組みを取り入れた。

これにより他の所管とデータを分担して入力できる利点と、より**高度な情報提供を可能**とすることができる。



地図の作成が簡単になる その2



- ・背景となる地図データは電子国土WebシステムとGoogleMapを使用し、特に福岡県が地形データを整備しない

- ・各課が独自に作成したカテゴリ（レイヤ）をシステム内に保存

- ・各課が作成したカテゴリを組合せ、表示する縮尺、カテゴリの表示・非表示の設定、初期位置の中心位置をパラメータ化した地図URLを作成

- ・システム管理者から公開承認を受けた後、情報公開される

既存GISデータの取込みが可能

既存のGISについて、維持更新が軽微なものであるが、**県職員で修正する権限のないシステム**や、外部公開を積極的に進めたいが**新規にGISを構築することが困難なデータ**について、**データの変換および移行作業を行い、システムの費用対効果を向上させる。**



福岡県地理情報システムサイト

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/d08/gis.html>

現在公開しているマップ

[リンク](#)・[県の機関・県の施設マップ](#)

※福岡県の出先機関、関係機関や県立学校の位置などを示した地図です。「表示・非表示」をクリックして、見たい施設を選んでください。

[リンク](#)・[ふくおかバリアフリーマップ](#)

※福岡県内の公共・民間施設の出入口や施設内通路の段差の状況などのバリアフリー情報を、地図とともに検索することができます。[\(障害者福祉課\)](#)

[リンク](#)・[建築協定区域一覧](#)

※上記リンク先の「建築協定」の名称を選択すると、建築協定区域を表示する画面が開きます。[\(建築指導課\)](#)

[リンク](#)・[福岡県の文化施設](#)

※福岡県内にある文化施設の位置や利用方法などを示した地図です。[\(県民文化スポーツ課\)](#)

[リンク](#)・[県営都市公園](#)

※福岡県内の県営都市公園の位置と詳細についての地図です。[\(公園街路課\)](#)

[リンク](#)・[福岡県内のシルバー人材センター](#)

※福岡県内にあるシルバー人材センターの位置を表示した地図です。[\(労働局新雇用開発課\)](#)

[リンク](#)・[県内伝統工芸品マップ](#)

※経済産業大臣指定の7つの伝統的工芸品産地マップです。[\(中小企業振興課\)](#)

地図の使い分けのポイント その1

山間部の閲覧に適した
電子国土Web



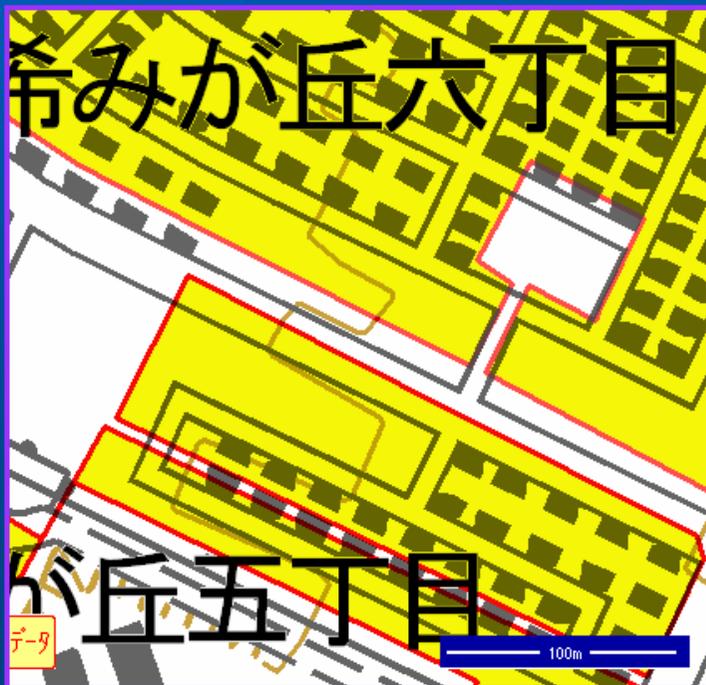
都市部の閲覧に適した
GoogleMap



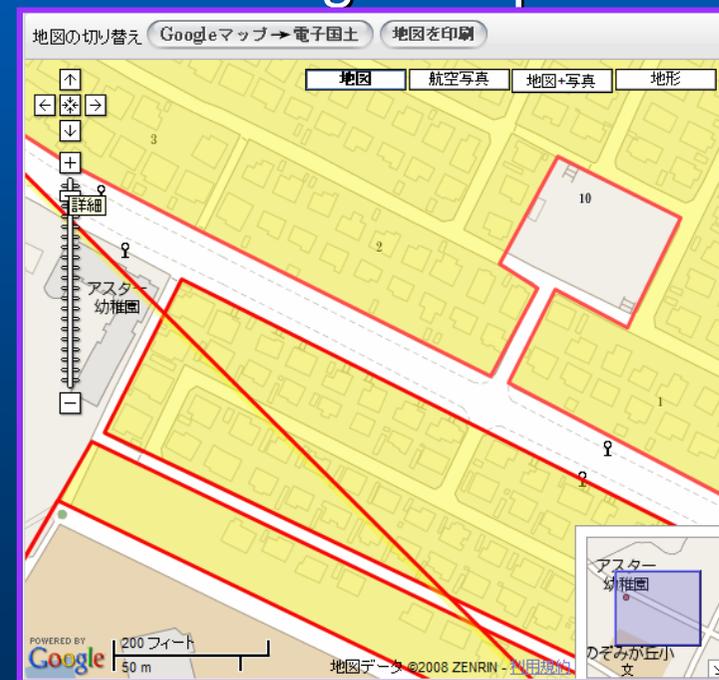
地図の使い分けのポイント その2

面情報等の表示については、電子国土Webが適している。

電子国土Web



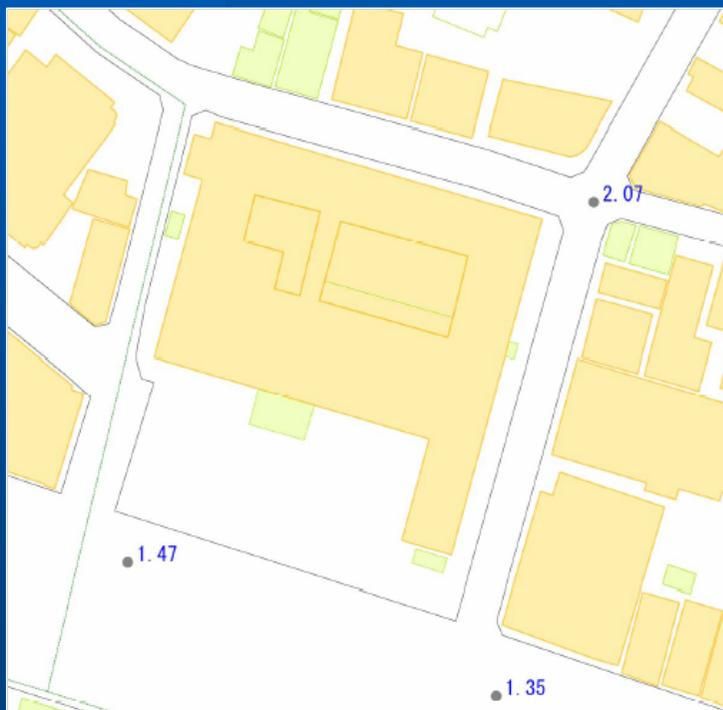
GoogleMap



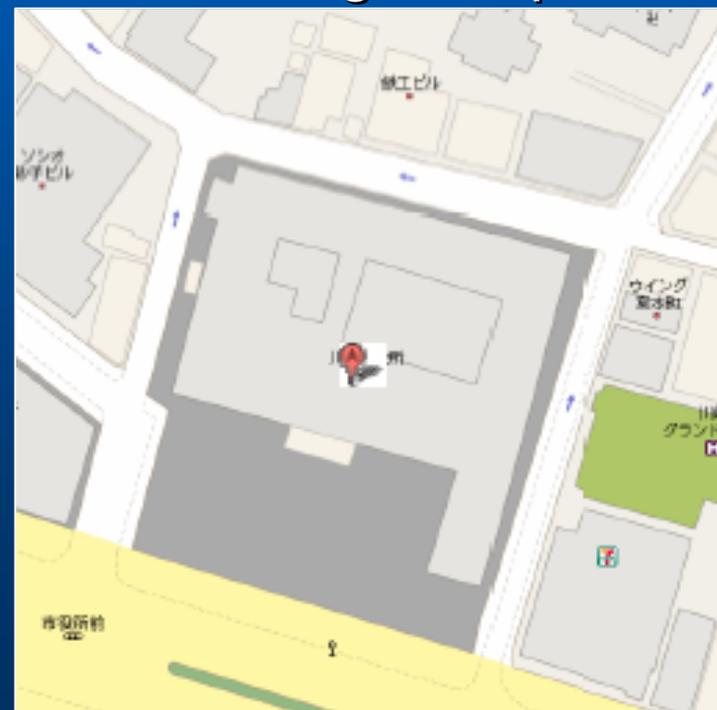
基盤地図で電子国土の精度も上がる

細部において正確な基盤地図が電子国土Webの背景となれば、県民に対して、より正確な情報提供が可能となる。

電子国土Web



GoogleMap



地理情報提供システムの方針

- ・ **さまざまなカテゴリの情報追加**

共有するデータを増加

- ・ **システム使用部署の拡大**

地理情報ユーザーの増加

- ・ **基盤地図情報の検討**

利活用方法・整備方法・更新方法の検討



福岡県における 電子国土Webの活用と基盤地図情報

御清聴ありがとうございました